

会議の名称	第４回小金井市児童発達支援センター運営協議会		
事務局	福祉保健部自立生活支援課		
開催日時	令和７年２月１２日（水） 午前１０時から		
開催場所	前原暫定集会施設 １階Ａ会議室		
出席者	委員	岩田 和香 委員 古川 史子 委員 原 咲舞 委員 佐藤 歩 委員 森田 たか子 委員 黒澤 佳枝 委員 三浦 朋子 委員 小川 順弘 委員	
	事務局	自立生活支援課長 天野 文隆 自立生活支援課障害福祉係長 大久保 圭祐 自立生活支援課障害福祉係主事 木村 亜由美 児童発達支援センター長 佐々木 宣子 児童発達支援センター職員 岸野 奈美 児童発達支援センター職員 宇佐見 翠	
傍聴の可否		可	傍聴者数 ２人
会議次第	１ 開会 ２ 報告事項 (１) 令和６年１２月までの実績報告について (２) 令和６年第三者評価の結果について (３) 写真の御案内の誤送信について ３ 令和６年度業務評価報告書について ４ その他 ５ 閉会		

(午前１０時００分開会)

◎会長 おはようございます。

ただ今より、今年度最終になるんですけれども、第４回小金井市児童発達支援センター運営協議会を開催いたします。

本日の欠席委員等につきまして、事務局から御報告をお願いいたします。

◎事務局 本日は、２名の委員から欠席の連絡が入っております。

それから、委員１名、遅れてくるとの御連絡がございます。

小金井市児童発達支援センター運営協議会規則第６条におきまして、協議会は委員の２分の１以上の者の出席がなければ会議を開催することができないと規定されておりますが、１２名

中、委員1名が仮に欠席いたしましても現時点で8名の出席がございますので、会議が成立することを御報告いたします。

◎**会長** それでは、会議に先立ちまして事務局から配付資料の確認をお願いいたします。

◎**事務局** 配付資料の確認をさせていただきます。本日机上に配付しております資料は、第4回小金井市児童発達支援センター運営協議会の次第、資料1としまして児童発達支援センター運営協議会への実績報告、資料2、令和6年度第三者評価結果報告書、資料3、小金井市児童発達支援センターきらり業務評価報告書（令和6年度）案、参考配付といたしまして第3回運営協議会意見・提案シート、資料は以上となります。

◎**会長** それでは、次第に従いまして進行させていただきます。

次第の2番目、報告事項についてです。事務局から説明をお願いいたします。

◎**事務局** 今回、報告事項は3点ございます。

1点目は令和6年12月までの実績報告について、2点目は令和6年第三者評価の結果について、3点目は写真の御案内の誤送信についてとなっております。

◎**会長** それでは、(1)番、令和6年12月までの実績報告について説明をお願いいたします。

◎**センター長** では、令和6年12月までの実績報告をいたします。資料1を御覧ください。

初回の相談となる①の一般相談は、177件でした。令和5年度は167件でしたので、件数にして10件、約6%増加しています。

②の専門相談は、982件でした。令和5年度は896件でしたので、件数にして86件、約10%増加しております。引き続き発達に関する相談のニーズが高いと考えております。

次に、中ほど④から⑨について御報告いたします。

④の児童発達支援事業通園と⑤放課後等デイサービスにつきましては、変更なく実施しております。年度の終わりに近づき、支援の報告を行うための準備を進めております。放課後等デイサービスについては、件数は変わらないんですけれども、この間1名の方の利用の御辞退と新しい方の利用が始まっております。

次に、⑥の保育所等訪問支援事業です。5月から訪問を開始し、昨年度と同様の実施をしております。訪問は2月までとし、3月は支援の報告についての面談を行う予定です。

⑦の親子通園事業は、5グループ19名でスタートし、徐々に人数が増え、10月末には6グループ25名で実施しております。11月に入り、さらに1グループをスタートさせ、12月は33名となりました。

⑧外来訓練事業は160名で、人数は昨年度よりも多くなっておりますが、出席回数自体はやや少なくなっております。体調不良や行事に関連したお休みが多いことが影響していると考えております。

次に、⑨の巡回相談事業です。保育園・幼稚園等への巡回は12月までで通常の訪問は終了し、1月以降に各園でまとめを行う会を実施しております。このまとめを基に、各園へ配付する報告書の作成をしていただきます。学童保育所への巡回は1月以降に各所へ1回ずつ巡回し、

今年度は終了となる予定です。

その他の研修・講演会等につきましては、お手元に配付しました「きらきらレポート」ナンバー13「発音の発達を支えるために」を12月に発行いたしました。「きらきらレポート」をホームページに掲載するという件は、現在内容確認を行っている最中です。

また、市民向け講演会を動画配信で現在実施しております。テーマは「子どもたちのいろいろな表現～乱暴な言葉づかい～」で、きらりの心理士が講師として行っております。184名という多くの方の申込みをいただきました。

令和6年12月までの実績報告は以上となります。

◎**会長** 御意見、御感想等ありましたらお願いいたします。

活動については着実に実施されていますし、外来訓練事業以外のところでは確実に向上もしているなど感じたところです。「きらきらレポート」のホームページへのアップということもここで話し合われた中で実施されていくということなので、よかったかなと思っております。

先ほどの「きらきらレポート」をアップするということなんですけれども、起案をして、内容を作成して、所長さんとどなたが確認されるのか。

◎**センター長** 最終的には私で、あとは職員が何名か確認しています。

◎**会長** きらりの職員ということですね。

◎**センター長** はい。

◎**会長** 分かりました。

それでは、続きまして、令和6年度第三者評価の結果についての説明をお願いいたします。

◎**センター長** 資料2を御覧ください。表裏に印刷していただいております。下のほうに1/2と書いてある1ページ目のほうから御報告いたします。

第三者評価は、年間を通して実施いたしました。評価機関が報告書としてまとめたものの集約された部分を今回お配りしております。

「事業者が特に力を入れている取り組み」という項目になります。3つ挙げていただいております。評価項目という1-1-3のように数字が書かれている右側の内容は、もともと第三者評価は評価項目が決められておりますので、その評価の項目のタイトルになります。

1-1-3のところをまず取り上げられまして、「重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している」という項目の中で、タイトル①の「職員間の意思統一を図り、子どもや保護者に一貫した支援ができるようにしている」というところを取り上げられました。

2番目の②の部分は「非日常生活の行事を通して、スモールステップの歩みを実現させている」という件、③は「事業に連絡アプリを導入し、業務の効率化と利便性を高めている」というところを取り上げられました。内容としては、詳細がそれぞれに書かれております。

裏面を御覧ください。全体の評価講評をまとめております。

上段の1、2、3のほうが「特に良いと思う点」、下の「さらなる改善が望まれる点」も1、

2、3項目挙げられております。

「特に良いと思う点」は、1番目として「家族支援を重視している事業所の姿勢が保護者にも伝わっており、療育についての満足度が非常に高くなっている」、2番目が「市と運営法人が課題を共有する運営協議会を設置しており、自治体の障害児施策の基本的な姿勢が表れている」、3番目として「地域向けの講演会を継続的に実施して広く啓発するとともに、市や関係機関との連携により地域ニーズに対応できるようにしている」。

「さらなる改善が望まれる点」としては、1番目として「センター全体の専門職の協働を進めることによって、療育における発達支援課程の構築に期待したい」、2番目として「現在の目標管理制度について、より効果的な仕組みとしていくための検討を進めていくことに期待したい」、3番目として「隣接している公立園との交流の頻度を高める等、子どもの育ち合いを保障し合う機会を持つことに期待したい」となっております。詳しくは、それぞれ内容に書かれております。報告は以上になります。よろしくお願いいたします。

◎会長 若干時間を取りますので、お目通しをお願いいたします。

いかがでしょうか。内容につきましては、変更ということはできません。第三者評価からこういう内容で報告が上がった、評価が上がったということですので、こういうことなのかなということでも理解していただければと思います。

疑問点などがございましたら、ここで答えられる範囲で対応したいなと思います。感想等がございましたらお願いいたします。

では、私のほうから1つ。見させていただいて、なかなかよい評価が出ているなと思いました。「特に良いと思う点」というところで、タイトル1のところでは、保護者にも姿勢が伝わっているということで、保護者との連携、理解を深めるということが大事なんだということが示されているというふうに思いました。療育への満足度も100%ということで、高い評価。ただ、後でも考えなければいけないことがあるんですけれども、アンケートの回収率ということも考えなければいけないのかなと思います。

それから、「事業者が特に力を入れている取り組み」ということで、職員間の意思統一を図る、職員が丸となっているということと言うと、よい点というところも含めて総合的に考えると行政、関係する機関、保護者との連携が大事で、子どもに向き合っているんだなということを感じました。

あとは、ペーパーレス化につながるところなんですけれども、一長一短あるのかなということも思います。メールでたくさん来て、なかなか理解を得られない場合もあったりするのかなというようなこともありますので、その辺はまた考えていかなければいけないのかなと思います。

それでは、続きまして、写真の御案内の誤送信についての説明をお願いいたします。

◎センター職員 写真の御案内の誤送信の事故と再発防止について御報告いたします。

1月25日の土曜日、14時17分に、コドモンアプリにて、本来は通園にじ組の保護者様

宛てに送るべき写真の御案内を、誤って通園かぜ組、そら組と放課後等デイサービスを利用している保護者の皆様宛てにも送信してしまいました。

誤送信直後に誤りに気づき、送信先の設定をにじ組の保護者様のみに修正しましたが、それまでの1分30秒の間はにじ組以外の方でも写真を御覧になれる状態になってしまいました。

にじ組の保護者の皆様には、当日電話で謝罪をしました。「気にしていません」、「大丈夫です」というお答えをしてくださっています。

当日中には2名の保護者の方に連絡が付きませんでした。1月27日月曜日の朝の送迎時に直接説明し、謝罪しております。

設定を修正後は、通園にじ組以外の方への写真の御案内自体が削除されておりますが、状況を把握するため、この時間帯に写真を御覧になられた方はコードモンアプリのその他の連絡に記入し送信の御協力をお願いいたしますとお知らせ一斉配信にて送信しています。

当日、1月25日から27日にかけて分かったのは、通園の1名、放デイの9名の方が「写真を見ました」と送信してくださいました。個別にお電話をして、おわびと、ダウンロードはしていないかの確認をしています。「違うと思ったので、お知らせだけで開けていません」や「うちの子が写っているかと思ったので少し見ましたが、すぐに違うと思いましたので詳しく見ていません」とのことで、皆さんがダウンロードしていないことを確認させていただきました。

通常、写真の御案内は2人で作業し、事業を担当している児童発達支援管理責任者が必ず確認してから送信するという手順で行っておりました。事前に送信する日時を24日の金曜日と決め、ほかのクラスは24日の金曜日に配信していましたが、にじ組が間に合わなかったため、翌日決められた手順を踏まず1人で作業をしてしまったことによりこのような事故を招いてしまいました。

再度同じことが起きないように、写真を扱う際の手順を徹底し、個人情報の取扱いについては細心の注意を払って間違いがないように管理し、安心していただけるよう職員一同取り組んでまいります。

◎会長 今の説明につきまして、質問等はございますか。

メールとかアプリとかの活用というのは本当に怖いものがあるんだなと感じています。なかなかピンと来ない方が多いんですけれども、技術的にそこからアップロードして違うものに添付したりとか、いろんなものがあるようですので、本当に注意をしていかなければいけないなと。特に学校などで個人情報を扱う場合に配信については注意を払ってというところですね。

◎委員 送ったのは保護者の方のみで合っていますか。

◎センター職員 はい。

◎委員 そこに個人情報の保護がどこまでかかってくるかなというのが、すごく丁寧な対応をしていただいているすごいなと思ったんですけれども、ホームページに上げるとかは不特定多数の方に見られてしまいますが、通園されている保護者の方にそこで行われているほかのクラスの写真を送ると考えたときに、どこまでなのかなという。クラスに送るのと、全校に送るの

と、あまり変わらないという気はしているんですね。それが二次的に使われちゃうということもあるかもしれないんですけど、そもそもそういうことがないという前提で保護者の方には送っているというので、そういうことに対してすごく丁寧に対応されているなというのがこちらで考えている印象かなと思っています。

もちろん学校でもいろいろ細かく注意はして、そういうことが起こらないようにしてはいるんですけども、その辺は最初から許可を取って送れば、保護者に関してだけということであるなら問題ないかなという気はするんですが、もしかしたら事前に許諾を取る必要があるのかなと。その辺が、せっかくのサービスという言い方はあれなんですけれども、知っていただきたいという思いでやっているものが後ろ向きな気持ちにならないといいなと思います。

◎センター長 よろしいでしょうか。今回は、通園事業の1クラスに送るべきところを、通園を越えて放課後等デイサービスの保護者様宛てにも送ってしまったというところが私たちとしてもいけない対応だったというところで、放課後等デイサービスの方には写真の提供等をしていないというところもありますので、相当驚かれたと思うんですね。なので、その辺りは注意しなければいけないところなので、今後気をつけたいと思っています。

◎会長 では、続きまして次第の3、令和6年度業務評価報告書について、事務局より説明をお願いいたします。

◎事務局 資料3、令和6年度業務評価報告書（案）を御覧ください。

こちらは、例年作成しているもので、外来訓練、親子通園の利用者アンケートの結果等を集計して掲載し、運営協議会で1年間の総括としてまとめ、成果物としているところでございます。

前回の運営協議会で御了承いただいたところですが、今年度の運営協議会における児童発達支援センターの業務の検証については、昨年度と同様に外来訓練、親子通園事業についての利用者アンケートの結果と、児童発達支援、放課後等デイサービス事業についても東京都福祉サービス第三者評価の結果を合わせて委員間で共有することにより検証を行うこととしました。

また、そのような検証方法となると、委員の皆様がきりりへ行く機会がなくなることから、希望する委員のみですが視察という形で訪問をしていただきました。この視察には、3名の委員の方が参加されました。参加された委員の皆様、ありがとうございました。

それでは、内容について御説明させていただきます。

まず、1ページです。こちらについては、この協議会の目的等が記載してございます。

次に、2ページ、本年度、全4回開催した協議会がどんな内容だったかということを記載しております。

続きまして、3ページ、こちらは現在きりりで実施している事業を記載したものでございます。

4ページは業務評価についてということで、今年度の業務の検証方法について記載しております。

続きまして、5ページから11ページ目までは実際に外来訓練と親子通園事業を利用なさっている保護者の方々からのアンケートの内容でございまして、昨年度からはアンケート用紙、または電子フォームによる回答を選択できる形で周知、実施しております。

今年度の回答件数は、外来訓練事業が全体で42件、うち電子フォームによる回答が39件でございました。親子通園事業では、全体で3件、うち電子フォームによる回答が2件でございます。両事業で計45件の御回答をいただきましたが、昨年度と比較すると18件減少という結果になっております。

回答内容は、個人情報等を除く、軽微な誤字等を修正するという作業以外は基本的に原文のまま記載しておりますので、こちらにつきましては御一読いただいて、きらりの業務に対する率直な御意見として共有させていただければと思います。

次が、12ページ及び13ページになります。こちらにつきましては、利用者アンケートの項目を、「大変満足である」から「不満である」、未記入といった項目が過去5年間でどういった推移をたどっているかということグラフにしております。

14ページにつきましては、総括ということで、事務局の案として記載をさせていただいております。今年度のきらりの業務に関してのまとめといった形になります。

15ページ以降は参考資料ということで、この協議会の規則、現在の委員の皆様の名簿、最終ページには毎回御報告申し上げている実績報告ということで、こちらは3月末までの実績を含めて、完成後、市ホームページに掲載するという流れでございます。

◎会長 それでは、これにつきまして、御意見等をいただきながら進めていきたいと思っております。

確認なんですけれども、報告書の1ページから4ページまでのところでは、昨年度と大きな変更点はありましたか。

◎事務局 特に変更はございません。

◎会長 ないですね。あるとすれば、協議会の内容のところは昨年度と若干違ってはいますが、ここのところは間違いはありませんので、ほかのところに関しては昨年度と同様ということで大きな変更はありません。

では、利用者アンケートのところで、初めて目を通すという方もいらっしゃると思いますので、御覧になって、御意見と感想などをいただければと思います。

まずは、外来訓練事業のところをお目通しください。

ここのところは「大変満足である」というところで、高い評価をいただいているところかと思っております。

6ページ目の「概ね満足である」というところも、評価していただいているなと感じました。

6ページ目の「どちらともいえない」というところで、私たち、これからまた考えていかなければいけないのかなというところかと思っております。

感想、または改善点など、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

「どちらともいえない」というところを読ませていただいて感じたことなんですけれども、

例えば「支援なのに有料なんだろう」とか、「子供たちに自由にやらせ過ぎている」とか、「どういう意図なのか分からない」ということは、これは説明不足ということだと思います。

いただいた意見提案シートのところにもあったんですけども、「ここに来て意見を聞いて理解ができた、分かった」ということが書いてあるんですが、これがすごく大事な点だと。保護者への説明というのがすごく大事な点だというふうに思います。

例えば、「支援なのに有料、国や市の助成があればいいのに」ということで、御理解いただけていない部分があるのかなというふうに思います。

それから、「自由にやらせる」と。確かに外見は自由かもしれないけれども、経験の再構成をさせる、この活動はこういう意味があるんだということをきちんと保護者に説明する、何がどういう意図なのか、訓練なのかということを理解していただくということがすごく大事な点かなと。ただ見ていると、遊ばせている、自由にさせているというようなことがあるように思うんですけども、きちんと説明をしていくということがすごく大事な点だと思います。

実際、私が校長をしていたとき、もう随分昔の話ですけども、私は二小で校長をしていました。固定の身障学級、通級の難聴、言語など、たくさんの特別支援の学級があったんですけども、最初の頃は教員でさえ、通級へ行って、子供が自由に遊んでいると言うんですよ。違う、これはこういう意味があってやっているんだということをきちんと説明をしないと、担任の先生がまた好き勝手なことをやらせているというようなことを感じていた人も昔はいました。ですので、保護者の方にもきちんと説明していくところって大事な点かなと思うんですけども、きらりのほうでは保護者会の中だけじゃなくて、それぞれの場面でちょっと説明したりというようなこともあるんでしょうか。

◎センター長 外来訓練は親御さんが同席されていることのほうが多いですので、終わった後ですとか前ですとかに意図は説明しているつもりではあるんですけども、十分伝わっていないことがあるなということをこのアンケートで感じております。

また、自由にやっているというのは、例えば作業療法士の訓練ですと複数の方が器具の置いてある広い部屋で訓練することがあるんですけども、御自身のお子さん以外のお子さんの支援の意図というのを深く説明するというのはなかなか難しい。ただ、何か不思議だとか、これはよくないかなと思っているようなことをそのままにしておくのはよくないことですので、お伝えできる範囲でしっかり説明すれば分かっていたこともあるのではないかと思いますので、そこは専門職と共有して対応していきたいと思います。

◎会長 実際に見学して、UNOをやって帰ってくるだけですかというようなことがあるんですけども、その中でいろんな関わりがあってですねという話をすると、そういう意味でやっているんですねということを御理解いただけると。ただガラス越しに見ていると、トランプをやったりUNOをやったり、それで終わりですかみたいなことがあるので、やっぱり説明というのは大事な点だと思います。ありがとうございました。

それでは、7ページ、8ページのところに目を通していただければと思います。

◎委員 先日は、お忙しい中見学させていただきありがとうございました。うちの子たちも、本当にお世話になっております。私も、お母様方からきらりに行かれたときのお話は日頃お伺いしているんですけども、一人一人をよく見ていただいていて感謝しているんですが、「不満である」の中のこの文言はすごいなと思ったんですけども、保育園も一緒なんですけど、今おっしゃったように意思の疎通がなかなかできにくい方もきっといらっしゃるのかなと。本当に分かっていただけるように話をするというのがかなり難しく、先生方もフォローはなさっているのかなと思うんですけど、私どもがお伺いしているときはよく見ていただいて感謝の言葉しか聞かないんですが、「不満である」のところがすごいなと思いました。

◎会長 ありがとうございます。感想等いただければと思いますので。

「どちらともいえない」というところでもあったんですけども、変更があった場合の伝達というか調整というのがお互い難しいのかなと感じるところはありました。

それから、「不満である」のところで、「断られた」というので、やっぱり説明が難しいのかな、理解していただくようにお話しするのが大事なのかなと感じたんですけども、その辺はいかがでしょうか。

◎センター職員 まさに説明不足だなという一言に尽きるんですけども、今回御相談のほうをいただきまして、その時点で私どものほうで言える範囲でお伝えさせていただいているんですが、保護者の方がこのように感じられたことは事実ですので、私たちのほうでも、説明したつもりとか、どうしても専門用語が出てきてしまったり、長く就いているとそうなりがちになりますので、説明をしつつも、保護者の方がどこまで一緒に理解についてきているかなとか、説明をし終わった後にそれとは別の御質問とか疑問がないとか、そこまで含めて引き続き丁寧な説明を心がけていきたいと思います。

◎会長 よろしく願いいたします。

8 ページ目の13番のところなんですけども、「毎月現金支払いは面倒なので」ということなんですけど、いろいろな費用の支払いというのはどんな形でされているのでしょうか。

◎センター長 外来訓練に関しましては現金の支払いとなっております。

◎会長 その都度ということですか。

◎センター長 翌月分をお支払いいただく形にしております。中には年間でお支払いになる方もいらっしゃるんですが、現在利用されている方が欠席された場合は返金をしておりますので、年間でまとめて払う方のほうがもちろん少なく、私たちとしても翌月分をお支払いくださいというところになっております。なかなか現金を使っていない、あまり現金をお持ちになっていない、キャッシュレス決済を中心に生活されている方も多いと思いますので、御面倒なんだろうなというのは私たちも感じている部分ではあります。何かいい方法はないかなと思うんですけども、なかなか具体的な導入の計画等は今のところは立っておりません。

放課後等デイサービスですとか通園は、口座振替で引き落としをさせていただいているというところなんです。

◎会長 この方は多分、ほかと同じようにしてもらえませんかということなんでしょうかね。

◎センター長 できれば現金は扱わないで、この方の場合には1年間分お支払いをして後に返金という案を出してくださったんですが、以前より現金払いで1年間分お支払いになるということも可としていますので、そのことはお伝えできてもよかったのかなと思うんですが、ただ会計的にはあまり先々の分でというのが多くなってくると、もう少しきちんとした取決めをしないといけないかもしれないと思っております。

◎会長 お返しすることを考えたりすると、またそこで事務的なことが煩雑になってしまうということがあるわけですね。

◎センター長 はい。

◎会長 分かりました。ここでこうしてくださいというわけにもいかないんだけど、こんな意見があるんですねというところでお考えください。

では、9ページのところはいかがでしょう。

◎委員 「担当者によって対応がまちまち」という表現があるんですけど、人間同士なので相性みたいのもあって、担当者の先生と相性が悪かった場合に、この事業所さんはちゃんとしてくれないというところになってしまうのがもったいないなと思うんですが、さっきから言うコミュニケーション不足でこういう不満になってしまっているようなので、きっと先生側としては言っているつもり、でも保護者は聞いていない、聞き方も分からないみたいなところでこういう結果になってしまうのかなと。なので、担当の先生だけじゃない方とお話をする機会というのがあるといいのかなと思ったんですね。

例えば、帰ります、そのときに事務所にいらっしゃる先生方が出てきてくれて、「今日はどうでしたか」とか、「訓練で思うところはありますか」とかって聞いてくださると、本人には言いにくいけどその方には言いやすいということもあるかなと思うので、何人かの方が関わるようにしてくださるとこういう不満というのがちょっとずつ減っていくのかなと感じました。

◎委員 子どものいるところでは話しにくいという意見も何個かあったので、私も実際にそれはあったので、あえてそういう機会、相談の時間を設けてくださいというのも保護者からは言いにくかったり、何となく言わずに過ぎてしまったりするので、定期的に相談の日というのがあってもいいのかもしれないし、さきほどのように別の方が出てきて相談があれば別に取りましますみたいな話の流れでなっていくこともあるのかなと。なので、何人かの方が関わっていくのは大事なかなと思います。

◎会長 そういうことも一つお考えいただければと思います。

本当にコミュニケーションというのは難しいなと感じることが多々ありますので、私もあるところで、息子はとっても駄目だと。でも、話を聞いていると、2時間ぐらいお子さんのことでいろいろ話をして、ではそういう形でやっていきましょうと言って、玄関まで行って失礼しますと言って、保護者の方が振り向いたら担当者がいなかったと。失礼しますと、歩いて、ちょっと振り向いたらもうそこにいなかったと。たった10秒、15秒で2時間がパーになって

いるんですね。あそこは冷たいというような。玄関を出るまで見送ってあげようということではなかったんだろうけれども、玄関を出る前にもういなかったというたったそれだけということで、コミュニケーションって難しいなとすごく思ったんですけれども、そういう小さな積み重ねというのが大事なかなと思いました。

それから、「療育手帳がもらえない子供にとってはそれが思うように進められないことを行政はどう考えるのか」というようなところなんですけれども、療育手帳って愛の手帳のことかな。

◎センター長 こちらは、きらりの事業もそうだと思うんですけれども、訓練の場ですとか、そういうものが手帳と連動しているような場合は、行政としてはそういう方の機会はどうかということはこの機会に書いてくださったんだと思うんです。

実際、療育手帳、愛の手帳のことだとは思いますが、愛の手帳ですと知的な数値を基準にされることが多くて、そのことで取得しようと思っても至らないお子さんですとか、精神保健福祉手帳が該当するとしても、小さいときに診断ですとか、そういうところでなかなか取得に至らない方もいらっしゃるし、そういう方の療育の場をどうしたらいいのかというところだとは思いますが。

ただ、児童発達支援ですとか放課後等デイサービスは、基本的には受給者証の申請と支給に必ず手帳が必要というわけではないとは思いますが、もしかしたら事業所さんによっては参考にされているところもあるかと思っています。もしかしたら受給者証と勘違いされている可能性もあるかもしれないんですが、もしこういうことで相談したいと思われていたら私たちも相談に乗れますので、少し制度のところですか、どこで支援できるのかというのは丁寧に見ていきたいと思っています。

◎会長 これもコミュニケーションに関わる場所なので、よろしくお願いいたします。

今、言葉のところで、例えば療育手帳、愛の手帳、私たちは分かっているつもりでも、保護者の方には、先ほどの話の中で専門用語というんですか、一致していないような場合もあるかと思うので、その辺は気配りをしながらお願いします。

あと、内容のところにもあったんですけれども、送迎に関してのことなんですけど、無料でやってほしいということなんですかね。それとも有料でもいいから送迎をやってほしいということなのか、その辺は分かりますか。

◎センター長 今、療育と言われる分野だと、児童発達支援が多いと思います。きらりの外来訓練は市独自事業という形で行っていますので、サービスの種類が違いますが、児童発達支援もかなり送迎をされる事業所さんが増えてきたというのも親御さんの情報としてあるのではないかなと思います。あとは、働く親御さんも増えてきているということで、送迎があれば使いやすいというところだと思います。

特にどんな形でだったら成り立つのかというのを想定されて書いていただいているかどうかは分からないんですけれども、確かに送迎サービスがある児童発達支援があると感じてらっ

しゃる。

◎会長 ここで、じゃ、こうしようというわけにもいかないとは思うんですけどね。

◎センター長 そうですね。送迎サービスというものの自体が大変大きな事業といえますか、今児童発達支援のほうでは行っておりますけれども、送迎サービスにける人的、経済的なものってかなり大きいので、それを外来訓練でというのは、同じ形でやるとしたらなかなか想定しにくいと。

あとは、親御さんとのコミュニケーションが課題であるという御意見もいただいているんですけども、私たちとしても支援の意味ですとか、お子さんの発達のこと、あと先々のことをどう考えていったらいいのかということを親御さんと話すというのを重視している部分もありまして、そう考えると、送迎というとお話する機会をまた別に設けることになりまして、難しい、訓練中の様子を直接説明したり。いろんな意味で検討するというのもなかなか難しいのかなとは思っております。

◎会長 ここでいろいろ質問していると、実情がだんだん分かってくるなという気がします。

それでは、親子通園事業アンケート、10ページ、11ページなんですけれども、いかがでしょうか。

「大変満足である」、「概ね満足である」ということで高い評価をいただいているんですけども、私は気になりました。もしかしたら「大変不満である」になるのかもしれないなど。今年度、親子通園は、少ないときで19人、多いときで33人で、アンケートに答えている方が3人です。令和3年は大体30人ぐらいがおいでになっていて、そのうちの13人の方がアンケートに答えていらっしゃったということで、評価としては概ねよい、大変よいというところだったんですけども、3人というのはいかななものかと。

先ほども言いましたが、3人の方が「大変不満である」というところだったならば、親子通園はかなり低い評価になってしまうということで、私としては保護者のアンケートに対する意識というのはどうなのかな、またはアンケート記入の依頼の方法などは実際どういうふうになっているのかなということ。回収率として毎年低下しているので、今までどおりはまずいのかなというふうに思います。その点、いかがでしょうか。

◎センター長 私たちも、親子通園事業の回答の人数が減っているのは気になることです。年々減っている理由とはならないとは思いますが、外来訓練事業はお子さんが訓練をしている間にアンケートのお知らせをお手元に持った状態でその場で記入されるですとか、訓練中に回答されるということもしやすいのかもしれないと思っております。ただ、親子通園事業は親子で参加していますので、アンケートを持ち帰ってからでしかできないという状況なので、もしかしたらお持ち帰りになった後忘れてしまうこともあるのかなというふうに思います。ただ、ずっと同じ形態でお取りしていますので、年々減っている理由とはならないなと思います。

外来訓練も、頻度は様々なんですけど、かなり多くの方が月3回から2回なので、アンケートがお手元に来てから回答するまでに、そういえばアンケートがあったなということを思い出す

ような機会が比較的多いのかもしれないですが、親子通園事業は月2回か1回なので、もしかしたらアンケートがお手元に行った後締切りまでの間に思い出す機会がないのかなというところですよ。

なかなか例年減ってきている理由というのは難しんですけども、対策としてはもう少し早くアンケートを配り始めるとか、よろしくお願いしますという張り紙ですとか、周知の仕方も再度するというのがしやすいのかなと。

◎委員 聞いてもいいですか。アンケートと意見は紙ベースなんですか。

◎センター長 はい。前回の運営協議会のときにお目を通しいたいて、このような形で、紙で提出もできますし、QRコードから回答もできるという形になっております。

◎委員 紙は全員に配付されているんですよ。

◎センター長 はい。

◎会長 紙でやるのと、アプリの活用であると。12ページから13ページを御覧になっていただければ分かるんですけども、令和2年から令和6年まで、どのアンケートも確実に少なくなっているんですね。

◎委員 紙ベースだったものがアプリ、電子機器ベースに学校のアンケートなんかでも代わりつつあるんですけども、私自身は紙ベースのときは100%出していたんですが、電子機器になったら出さなくなってしまうている。だから、それも関係あるのかなと思ったんですけども、今お話を伺ったら紙も渡しているというので、そこではないのかなと思ったんですが、何か理由があるのかなと思います。

◎会長 出すほうは1つだけ、受け取る保護者の皆さんは幾つもあるからもういいかなというのものもあるんでしょうかね。どんなもんでしょうかね。

◎センター長 親子通園事業は、きらりでアンケートを受け取ることが初めての方がほとんどですので、あまり多いというのはほかの事業も何か使われていたら、例えば児童発達支援を親子通園の場合は別に利用されている方もいらっしゃるんで、そういう事業はアンケートが必須ですのでやり慣れている方もいらっしゃるかと思います、親子通園の年齢等を考えるとあまりそれは考えられない。

ただ、少し話がそれますけれども、第三者評価等は、それと別にガイドラインに基づく自己評価というものもありまして、それが必須なものですから、例えば放課後等デイサービスを2か所、3か所使われている方がどこからもアンケートが、第三者評価もやっているとさらにということで、相当アンケートが多いのではないかと想定していますが、年にはよるんですけども、全体的にはじわじわとアンケートの回答率は下がってきている印象があります。ただ、親子通園に関しては定期的に通うのは初めての方がいらっしゃるんで、ぜひ御意見をお伺いしたいと思いますので、また、どのような方法ですとか、冒頭のお知らせの仕方ですとか、もしかしたら講演会のチラシなんかと同じものかなと思われたかもしれませんので、これは御回答いただくと大変ありがたいものですよというのが分かるように少し趣を変えてお知らせできれ

ばなっております。

◎会長 外来訓練もそうですし親子通園もそうなんですけれども、利用者アンケートの回収率がよくなるような工夫をお願いします。お願いばかりなんですけれども、どういうものが一番皆さんとしては出しやすいんでしょうね。こんなのだったらいいわよというようなものはありますか。

ただ、そういうことをする方はいらっしゃらないと思っているんですけれども、何か意図を持って少数の方が1つのところとなったりすると正しい評価ができなくなってしまうんじゃないのかなという気がするので、多くの方に提出していただけるとありがたいと思います。

第三者評価も、こういうアンケートを見て評価するわけですから、回収率が高くなる方がいいのかなと思います。

それでは、12ページ、13ページは今までのアンケートの回収率等が出ていますので、これは話が出ていますのでお分かりになったと思いますので、最後の14ページ、総括の文章についてお目通しをお願いできればと思います。この総括の文章は、ここでの私たちの考え、活動してきたことを含めてですので、お目通しいただければと思います。

それでは、段落ごとというか、塊ごとで見ていきたいと思います。

「平成25年10月の開所以来」というところから「1年間の総括としてまとめるものです」というところまででは、特に問題はなくというか、これでよろしいのかと思います。

「提供しているサービス内容の評価について」というところから「概ね高く評価することができます」というところでは、アンケートの結果等を踏まえてかなり高い評価をいただいているということはそのとおりかなと感じます。

次のところ、「法外事業である外来訓練」から「わかりやすくご案内している内容であると言えます」というところではいかがでしょうか。「自由意見でも親御さん」というところがあるんですけれども、ここは「保護者」に変えていただければなと思うんですが、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それから、「施設・設備の維持管理については」というところから「計画的な維持管理が継続して必要です」というところではいかがでしょうか。このところ、施設の見学に行かれた委員の皆さんもお感じになったと思いますが、経年劣化でいろいろ大変なところがあるなと思うんですけれども、予算を確実に確保しながらお願いしたいなと。そういう意味では、行政との関係をしっかり持つていくことが大事なんだろうなと思いました。

最後、「以上の状況を踏まえ」、「支援を行う必要があると考えます」というところ、これはこれまでのまとめと、それから今後のところを示しているというところだと思うんですけれども。

前のところに戻ってよろしいでしょうか。法外事業云々のところの3行目、「感謝している」といった文言が多く届いています」というのは、確かにそうなっていると思いました。

また、今まで話をしていた中で、訓練の内容等についての保護者への説明が十分でない面もあったことも明確になりましたというようなことが書いてあるといいのかなと思いました。訓

練の内容等についての保護者への説明が十分でなかったというところ、コミュニケーションを取っていくというところが大事なんだろうなという話が出ていたのかなと思いましたので。

最後のところなんですけれども、そういうことを踏まえて考えると、以上の状況を踏まえ、令和6年度のきらりの提供するサービスの総合的な評価は高い水準にあると判断します。今まで以上に子供たちのために行政、関係諸機関、保護者が連携を深め、支援の充実・向上を図っていくということが大事だと思います。支援を行う必要があると考えます。ここで話をしていると、行政と幼稚園等を含め関係諸機関こもそうですけれども、関係諸機関、それから保護者との連携というのが必要なんだろうなと、より重要になってくるんだろうなというふうに思いました。なので、このところは決意表明も含め、連携を図って充実・向上を図ってまいりますとさせていただけるといいかなと思うんですが、いかがでしょうか。

今まで以上に子供たちのために連携を深めていけばいいなと思います。と言って私がまとめちゃうのはなんなん。これで一応終わりということで、内容的にはこれで承認していただいてよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

それでは、次第4のその他なんですけれども、何か御意見等、協議されたい内容はありますか。

◎委員 最後の参考資料の説明はありますか。

◎会長 特に、今までのものなので説明は省略します。

それでは最後に、委員から一言ずつ、1分程度をお願いします。

◎委員 参考資料の講演会・研修会開催実績なんですけど、今週の土曜日、うちの学校公開で、きらりの心理士の方も参加されて、お話しして下さることになっているので、それもぜひアピールしたほうがいいなと思っています。

最後、各機関が連携と言っていたんですけれども、事務局側に求めたいことが、福祉保健部と子ども家庭部と学校教育部の3つにまたがっていると思うんですが、その辺のところ、接続の部分で困っていらっしゃる方がいるので、うちも学校としてできることとしてそういった講演をしてもらおうかなと思うんですが、もうちょっと連携を取っていただければなと思います。

このアンケートはすごくいい評価だなというのを、もうちょっと気持ちよくなっておいたほうがいいなと思います。ここを直してということがほとんどなくて高い評価がされているなということを第三者としてちゃんと把握しておかなきゃいけないし、公募の皆さんとか傍聴の皆さんもすごくいいところですよというのを外に広めていただくというのはすごく大事なことだなというふうに思います。そういった今できているところを肯定的に取っていただけたらなと思いました。

土曜日の学校公開は誰でも参加可能なので、ぜひ皆さん、声をかけていただいて、11時15分から12時までが講演の時間になっているので、本町小学校でするので、ぜひお声がけいた

だければと思います。

◎会長 ありがとうございます。

次、お願いします。

◎委員 今日のアンケートを通して、見ていてあちこち思うところがありまして、感謝している声があるという一方で、もっと利便性をとというような、利便性という言葉が、頻度とかを上げてほしいというようなことがあちこちにある。

私はこども家庭センターで仕事をしているので、ファミリーサポートセンターのボランティアで参加している方ですとか、産後ケア事業で各家庭に関わっている保健師さんとか支援者の方とお話をするんですけど、最近よく聞くのが、保護者の方の意識がだんだん変わってきていて、サービスをより受けたい、サービスを利用するということについての意識が高くなってきている。あと、仕事をしている方が増えてきていて、利便性を特に求める方が多くなっているというのを最近よく聞きます。

今日のアンケートを見ていて、支援事業をやっている仲間としてすごく感じたのが、社会的な変化とか、親御さんが変わってきているというところをつかんでいかなきゃいけない時期にあるなと。コミュニケーションの取り方とかも、アンケートの回答が減っているのは面倒だということもあるのかなと思っていて、そうすると、では対面で会ったときにコミュニケーションをより取らなければいけないのか、親御さんの在り方の変わりようをつかんでいかなきゃいけないという。あとは、親御さんが変わってきているということはお子さんとの関わりも変わってきている可能性があるんで、そこに対する関わり方もつかんでいかなければいけないんだろうなということを、アンケートを通して強く感じました。

もう一つ、アンケートの中で、外来訓練についての意見がすごく多くて、実施場所をもっと近くでとか、頻度を高くしてほしいとか、いろんな意見があったんですけども、今そういったことは考えとしてあるんでしょうか。何かを拡充するとか、枠を増やすとか、対象者を広げるとか。

◎センター長 外来訓練は、今のきらりの組立ての中で受け入れられる人数というところは、かなりぎりぎりのところで、お部屋の数ですとか、職員の数ですとか、そういうものの組合せがかなりぎりぎりのところで、今の頻度を維持しながら行うとしたら人数をさらに増やすことは大変難しい。今年度は最大ぐらいの人数だと思っています。

公設としてどういう発達支援を母子保健からつながった形で行うのかというのを大きく整理するとしたら、もっと頻度を下げるですとか、いらしていただく方の人数を増やすですとか、相談という形を中心に持ってくるとか、やり方は他の自治体等でもあるとは思いますが。ただ、しっかりと訓練をするというものを小金井市としては打ち出したと思っておりますので、外来訓練の頻度を含めるとかなり公立でやっている中では、私たちが理解している中では多いほうに含まれると思います。なので、どう整理していくのかというのはかなり大きな問題で、今のやり方ですと、かなり精いっぱいのところで行っているという状況ではあります。

◎委員 こども家庭センターのほうでは、こども家庭庁から今5歳児健診をやりましょうというような課題が出ておりまして、数年以内にはやることになると思っています。そうしたときに、5歳児健診で発達課題があるとその時点で分かった場合に、小学校入学に向けてどう対応していくのかということがセットで出てきますので、そこは今のきりりさんだけでなく、福祉保健部と子ども家庭部と教育委員会で準備をしていかなければならないなと思っています。

◎会長 その辺は非常に難しいところだと思うんですね。今の計画はいつまで？

◎センター長 来年度までです。

◎会長 ということで、また入札という形になっているわけですよね。そうすると、こういう考え方でやりますという事業者が出てきて、そこに代わる可能性もあると。うちはもっと安くやりますというところも出てくるかもしれないし、いろんなところがあるかと思うんですけども、今までいろいろ積み重ねてきてくださったよいところをそのまま継続していただければいいかなと。いろんなことがあるので、またこれにつきましては来年を含め考えていかなきゃいけないところなのかなというふうに思います。

あと、市のほうでどういう形で出すか。こういう形でやってほしいんですよというのを出すのは市ですから、それを受ける側が私たちはこういうふうにできますよということで応募していくわけですから、市のほうもどういうふうに考えているのかということを教育委員会も含めて考えていかなければいけないのかなと思っています。教育委員会、学務と保健、幼稚園と保育園はまた違いますから、その辺のところとこども家庭センターなどの組織とが横でつながっていただけるとありがたいなというふうに思います。

それでは、一言。今順番にやっているの、感想等を含めてお願いします。

◎委員 4回ほど会議に出させていただきまして、活動のことをいろいろ教えていただいてありがとうございました。保育園にお子さんが行っていらっしゃるということで、一緒に状況を踏まえてよりよい環境をつくっていくために今後とも協力していただけたらいいなと思います。

なかなか私のほうも、伺うのも時間がかかっちゃったり、来ていただくのもなかなかできなくて、来ていただくには費用が保護者の負担になるとお母様方に聞いたんですけど、そうなっていらっしゃるんですかね。なので、来ていただくというのは私からはお願いできなくて、担任はできればこちらから様子を見に行きたいという声もあるんですけど、人もいなくてなかなか出してもらえなくて申し訳ないんですが、ただその辺も出ていただくといいのかなというふうにしています。

きりりさんのほうも今目いっぱいということで、民間の施設に行っているお子さんもいらっしゃる。そっちは送迎があって、保育中にお迎えに来て、またいらして、お昼を食べたりという形なんですけれども、まだまだすごくニーズがこれからも増えるんじゃないかなと私も思っているので、公設がやっぱり私は安心かなという気がするので、事業が拡大されていってもっと多くの方が相談に行けたらいいのかなというふうにはしています。

私も、園長会のほうの代表なんですけど、なかなか皆さんに、どこを関連していいのかなというのは迷ってしまっていて、もし逆に民間の保育園の園長たちにこういうところを協力してほしいとか、こういうことをやってほしいんだということがあれば教えていただけるととてもありがたいです。本当にいつもありがとうございます。

◎センター長 私どもが園のほうに伺ってというのは、「きらきらサポート」という巡回事業以外はなかなか難しいので、有料だから行くというものはないんですが、もしかしたら保育所等訪問支援が、そのお子さんに対して給付される事業で、保護者の方の負担も場合によっては生じる、基本1割負担で、もしかしたらそのことと勘違いされていることもあるかもしれません。ですが、それはそれで単発で様子を見に行くというものではなく、かなり保護者の方にも協力していただいてしっかり取り組むような事業になります。

私たちが園の先生とやり取りさせていただくとしたらお電話が中心になるんですが、あとは先生に来ていただくということもありますが、そこは親御さんに同意をいただきましたら園の先生方と担当がやり取りさせていただいていますので、親御さんを介してまず希望がありますということがお互い確認できればお電話を差し上げていますので、ぜひそうさせていただければと思います。

あとは、園長先生方に代表でいらしていただいて大変ありがたいと思っています。私たちも、先生方のお話を聞く機会は、巡回で伺ったときですとか、個別にお子さんのフォローをさせていただいたときが中心になるんですけれども、相談したいなと思った方がきらりに相談できるように後押ししていただくといったことや「きらきらサポート」の御案内のときに、巡回事業は希望されないという園さんもいらっしゃると思うんですが、御案内の中にきらりと連携というか、紙を1枚入れさせていただいています。なかなか発達のことで相談したほうがいいですよとストレートに第一声言うのは難しいことが多いと思うんですけれども、こういう御様子があるから、例えば動きが多くて言うことを聞いてくれない、手を振り払っちゃうとか、そういう子を、発達が心配という切り口というよりは、生活の中で困っている事実のところを相談できる場所のようだよということで送り出していただく。実際に今困っていることの話をするんだと思ったほうが少し足が向きやすいかなと思いますので、ぜひ送り出していただければと。私たちも、お電話をいただいたら御様子を聞いて、まずお会いすることが多いですので、場合によっては親御さんがお話を聞いて御希望されないということもあるんですが、多くの方がお電話をいただいたら大体相談にいらしていますので、ぜひきらりというところがあるよというのを教えていただけたらと思います。お願いします。

◎会長 では、お願いします。

◎委員 1年間どうもありがとうございました。私自身は、発達の支援だったり福祉のことだったりというのはほとんど無知の状態がこの議会に飛び込んできたんですけれども、きらりの先生方の思いですとか、運営協議会の委員の方々の思いを聞くことができただけでも本当に勉強になったなと思いました。

特に外来訓練事業だったり、児童発達支援事業だったりというスライドを使った説明があったんですけども、すごく分かりやすかったです。私の子供も通園に通っているんですけども、スライドを見て、こういうこともそういえばみたいなこともありましたし、いろんな気づきがありました。なので、引き続き来年度もよろしくお願いします。

補足なんですけれども、親子事業のアンケートなんですけど、きらりの先生方にはもしかしたらすごく手間になってしまうと思うんですけども、親子通園のプログラムが終わって、10分だけ子供を見ているのでその間にアンケートを書いていただけませんか。そういう感じにすればもしかしたら100%回収できるのかなと思ったりもしました。私も記憶が定かじゃないんですけど、目をこすりながら家でアンケートを書いた記憶がよみがえってきたものですから、すみません、参考までに。引き続きよろしくお願いします。いつもありがとうございます。

◎会長 ありがとうございます。

委員、お願いします。

◎委員 1年間ありがとうございました。私は、親子通園のときから昨年度まで長年お世話になりまして、運営がこういう形で行われているというのは本当に勉強になりました。

私もアンケートのところなんですけれども、定期的な面談がありますよね。ああいうときに、ちょっと時間を設けて、聞き取りといった形でされるということはいかがでしょうか。

◎センター長 放課後等デイサービスや児童発達支援のほうは、定期的な面談が支援結果のほうの関係で必ずやるというふうになっていますので、その間でアンケートをするのもいいかもしれないなと。私たち支援者側と親御さんとの話題の連続性みたいなことを考えると、お子さんの成長だったりのお話をしているところで、事業のアンケートというのがもしかしたら少しそぐわないところもあるかもしれないというのと、お子さんの人数がかなり多いというのもあって、ぴったりの予定で組んでいるものですから、ゆっくり考えていただく時間を取るのが難しいかもしれないと思うんですね。

外来訓練も、時間をアンケートに使ってしまうのはできないと思うので、何かいい方法でアンケートに回答していただける方が増えるといいなと思っています。でも、意見としては、ありがとうございます。

◎会長 委員、お願いします。

◎委員 まずは1年間ありがとうございました。こういう会議に出席しなければ分からないことがたくさんあったので、もっと利用している保護者の方とかも分かると、こんなに大変な苦労があったりとか、協議してちゃんと考えてくださっているのが見えてくるのかなと。

アンケートも同じなんですけれども、単に興味というか、時間というか、本当にタイトな時間で皆さん過ごしていると思うので、その時間が単純に足りないのかなと。これが何に直結するのか想像できないというところもあると思うので、このアンケートがきりりさんの運営に直結していいことがあるんだよというのがもうちょっと分かれば親御さんもする気になれるのか

なとも思いました。ありがとうございました。

◎会長 では、最後、委員お願いします。

◎委員 1年間どうもありがとうございました。きらは、うちの息子はもう通うのをやめてしまったんですけれども、この委員会でいろいろと新たにきらりに関して考える機会を持てたことをすごくありがたいなと思っています。

アンケートの不満の声なんかだと、結構語気が強いなというのがあるんですけど、この強さというのはきっと不安の裏返しというか、どうしたらいいんだというところがこの強さになっているんだと思うので、きらりとつながっているということで、さっきから言っているコミュニケーションを密にすることでその不安を取り除けるようにやっていくと、不満の声がだんだん概ね満足というほうに変わっていくといいなと思っています。

前回「きらきらレポート」をいろんなところで公開したらいいんじゃないかみたいなことを言ったんですけれども、ホームページにとさっきお話があって、それが通ったらすごくいいなと。もし全体が難しければ、きらりに関わったけれども今はやめていて情報が入らないみたいな人にメール会員登録みたいな感じで、情報が欲しければやめた後もメールで情報を送るよ、欲しいですか、要らないですかと。要らなければいいんですけど、欲しいという人は何かメールみたいなものがあるって、「きらきらレポート」が発行されました、興味があったら取りに来てくださとか、もし添付資料でつけることが可能であれば添付でつけますとか、そういうメール会員みたいな感じでくくって情報を欲しい人にあげるというのも一つあるのかなと思いました。また来年度もよろしくお願いします。ありがとうございます。

◎会長 ということで、何か御感想はございますか。

◎委員 最後、今の委員の意見を聞いてちょっと言いたくなっちゃったんで、いいですか。このアンケートって、保護者にフィードバックするんですか。こういう意見が出ましたとバックしますか。

◎センター長 保護者の方に個別にこれをお渡しするということはしていないんですが、運営協議会の資料としてホームページに載せるというところで、御興味のある方に御覧いただいている感じです。

◎委員 これは全部バックしたほうがいいというふうにさっき言ったんですけど、こんなにいいことを言われているよというのは伝わったほうがいいし、こういうものをこう受け止めていますと言わないと、保護者は何のためにこれを行っているんだとなるので、せっかく応えているものがあるのにそれが伝わっていない。ですので、応えていますというのをやって、うちの学校は悪い意見も全部公開するんです、こういうふうに思っている人がいてそれにどう対応していますというのを、一方的に言われっ放しになるのもあれなので、ちょっと手間ではあると思うんですけれども、これについてやっていることも多いと思うので、それを伝えていくこと、さっき委員がお話ししていた回答率を上げるというのはそういうことだよなど。手を変え品を変えるんじゃないくて、それが一番本筋かなと思うので。

あと、小学校との連携みたいなことも書いてあるから、試しに小学校で心理士がしゃべってききましたみたいな、そこから気づいたことを書けるなということがあるので、ぜひそういった使い方をしてもらえるのがいいかなという気がしました。

◎会長 私たちも、子どもたちによりよい支援ができるようにやっているわけですから、一つとして取り入れていただければと思います。

若干時間があるので、協議会のメンバーですので一言お願いします。

◎センター長 皆さん、お忙しい中、運営協議会にご出席いただき、改めまして本当にありがとうございます。きりりも、私どものほうで運営させていただいて、毎年毎年いろいろな課題があるなと職員間で感じながら運営しています。なかなか簡単に解決できないことが多いんですが、ただお子さんと職員が関わっていく中では非常に手応えも感じていますし、何よりもお子さんたちがかわいらしく、親御さんもすごく悩みの多い時期で、不安が多い時期で、なかなか私たちがコミュニケーションを十分取れていないところもあるなというのは、ここに書かれている以外にも日々感じているところもあります。その辺りも、私たち職員が、いろいろな職種がいるというよさもありますので、先ほど御提案いただいたように、窓口のほうで相談、支援をやっている職員が声をかけるですとか、例えば作業療法士の訓練を受けているお子さんは心理士が相談に入るとか、実際はかなりやってはいるんですけれども、そういう発想が、職員のほうももう一步踏み込んでそれを進めたりというのものもあるかと思いますので、今ある資源ももっと活用していただけるものがあるかなと思いますので、コミュニケーションの力でそこら辺をやっていければと思っています。ありがとうございます。

◎会長 最後、事務局、いろいろお手数をかけて、大変ですね。

◎事務局 事務局といたしましては、この協議会で非常に前向きで参考になる意見をいただいています、きりりの運営を行政としても参考にさせていただいて、有意義な会議だったと思っています。ありがとうございました。

最後に、報告書のほうなんですけれども、3月までの実績の部分は数字というところなのでこちらにお任せいただいて、総括の部分、いろいろと御意見をいただいて、会長からもまとめをいただいたところでございますので、修正したものをメールでまた一旦流させていただいて、最終的な御承認をいただいた上でホームページに載せようと思っておりますので、また御協力をお願いいたします。

◎会長 ありがとうございました。

若干時間が早いんですけれども、以上で終わらせていただきたいと思います。今年度はありがとうございました。来年度もありますので、またよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

(午前11時44分閉会)